

もの言う牧師のエッセー・・・第160話

「マー氏」

米経済誌フォーブスによると、中国の電子商取引大手アリババは今年9月、米ニューヨーク証券取引所で史上最大規模となる250億ドル（約2兆9000億円）の新規株式公開を達成。それにともない同国一の大家とされる創業者ジャック・マー氏の資産総額も195億ドル（約2兆2500億円）に増幅した。さぞ彼は笑いが止まらないと思いきや、何と「大変な苦痛を感じている」そうなの！

彼は米TVインタビューで「今月はあまり 幸せではなかった。あまりにプレッシャーが大きかったからだと思う」と語り、さらに「株価が上がる。すると人々の期待も高まる。私は将来のことを考えすぎ、抱えている心配事も多すぎる。」 さらに「金持ちであることは良いことだが、中国一の富豪となると別だ。それがとても苦痛だ。なぜなら世界一の金持ちになれば、お金を求める人ばかりが群がってくる」とこぼす。彼は中国の国営メディアに対しても「中国一の富豪であることは無意味だ」と述べ、「私が最も幸せだった日々は、月に90元（約1700円）を稼いでいた頃だった」とも言い切っているが、なるほど聖書はすごい！

「財産が増えると、寄食者も増える。持ち主にとって何の益になろう。彼はそれを目で見ただけだ。神が富と財宝と誉れとを与え、彼の望むもので何一つ欠けたものがない人がいる。しかし、神は、この人がそれを楽しむことを許さず、外国人がそれを楽しむようにされる。これは空しいことで、それは悪い病だ。」伝道者の書5章11節,6章2節。「見よ。私が良いと見たこと、好ましいことは、神がその人に許される命の日数の間、日の下で骨折る全ての労苦のうちに、幸せを見つけて、食べたり飲んだりすることだ。これが人の受ける分なのだ。」同5章18節

と。全くマー氏と同じではないか！ ぼやいているのは今から約3000年前に“黄金の宮殿”を建て、世界の頂点に立ったソロモンである。要するに創造主である神を信じ畏怖せよということだ。幸せになりたいのなら。

2014-11-28

